

JAN 2009

近畿大学医学部 附属病院 広報誌

Vol.

創刊 **1**

KIZUNA.1

きずな



理念

患者本位の開かれた病院として、
安全で質の高い先進医療を提供します。

基本方針

1. 特定機能病院として、医学医療の進歩に関与し、社会に貢献します。
2. 教育病院として、人に愛され、信頼され、尊敬される医療人を育成します。
3. 南大阪における基幹病院として地域医療に貢献します。
4. 働きがいのある病院として、チーム医療と環境整備に努力します。



発刊にあたって

近畿大学医学部附属病院 病院長 工藤 正俊

近畿大学医学部附属病院は昭和49年4月に医学部が開設されたことに伴い、昭和50年5月に附属病院が開院されました。その後、昭和57年には附属病院救命救急センターを併設、平成6年には特定機能病院としての承認を受け、平成16年には日本医療機能評価機構の認定を受けております。現在は、許可病床数998床、診療科目数は25で総常勤医師数は401名、看護要員数は855名、その他の職員を含め総職員数は1591名の体制で診療を行っております。

当院は大和川以南のいわゆる南大阪で唯一の医学部附属病院であり、この地域における基幹病院として極めて重要な役割を果たしております。この度地域に開かれた病院としての当院の役割をより皆さまにご理解・ご周知頂くことを目的に近畿大学医学部附属病院広報誌「きすな」を発刊致すことになりました。皆さまに広く活用して頂ければ幸いです。

C o n t e n t s

発刊にあたって	P.01
最新情報	P.02
診療科の紹介（外科学）	P.05
診療科の紹介（内科学）	P.06
検査部だより	P.07
看護部だより	P.08
栄養課だより	P.09
薬剤部だより	P.10
放射線部だより	P.11
安全管理部	P.12
患者さま相談窓口 医療・福祉相談室	P.13
各診療科のご案内	P.14

《受診される皆さまの権利》

近畿大学医学部附属病院では受診される皆様が以下に掲げる権利を有することを確認し、尊重します。

1. 人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利
2. 病院全機能をあげて最善で安全な医療を受ける権利
3. 自らの心身の状態を理解するために当院から必要な情報を得る権利
4. 当院から必要十分な情報の説明を得た上で、自己の自由な意志に基づいて医療行為を決定する権利
5. プライバシーの保護を受ける権利
6. 必要に応じ、医療費用の内容に関する情報を受ける権利

《臨床倫理》

1. 医療を受ける人々の権利を最大限尊重するとともに、医療を受ける人々の最善の利益を追求する医療を提供する。
2. 医療を受ける人々の新条や価値観に十分配慮する。
3. 医療内容、治療の選択について詳しく説明し、医療を受ける人々の自由な意思に基づいて医療行為を決定する権利を尊重する。
4. 倫理的な問題を含むと考えられる医療行為については、法令やガイドラインを遵守するとともに、院内において十分審議検討を行う。

■ 最新情報

近畿大学医学部附属病院は、大和川以南の唯一の大学病院として、よりよき医師の養成のみならず、皆さまに愛され、信頼される南大阪地区の基幹病院としての役割を果たしてまいりました。さらに、現代医療の先進化と患者さまのニーズに幅広く応えるべくバージョンアップをはかり、さらにウイングを広げた先進医療を提供させていただく所存です。その一つとして、近畿大学医学部附属病院がんセンターを開設いたしております。また平成20年7月には、大阪府肝疾患診療連携拠点病院に指定されました。



●がんセンターが設置されました

がんセンターは、腫瘍内科医、放射線腫瘍医、臓器専門医、がん専門看護師、がん専門薬剤師などによる包括的で質の高いがん診療の実現を目指して設立されました。外科摘出術など各種臓器がんの特化した専門技術と各臓器がん幅広く用いられるがん薬物療法や放射線治療の技術を個々のがん患者さまに合せて選択、最も適切で効果的な治療法を提案します。通院治療センター、がん・ライフサポートチームは、安全で快適ながん診療を心を込めて支援します。



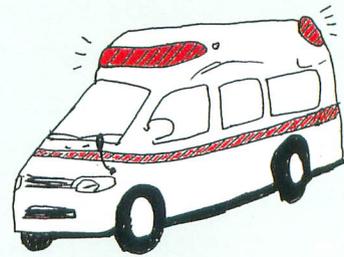
●大阪府肝疾患診療連携拠点病院に指定されました

近畿大学医学部附属病院は平成20年7月10日付けで「大阪府肝疾患診療連携拠点病院」に指定されました。肝炎、肝がんを早期に発見し、発見された肝炎患者を適切な医療に結びつけ、ひいては肝疾患による死亡者を減らすことを目的に各都道府県に設置が義務付けられました。当院では、消化器内科の肝臓専門医が肝疾患相談支援を行っております。また、南大阪での肝疾患診療の病院間ネットワークも構築し、診療所や病院からの紹介患者に対してインターフェロン治療の導入、あるいは肝がんの治療を行った後は地域の診療所や病院との連携のもとに総合的に患者さまを診療していくという

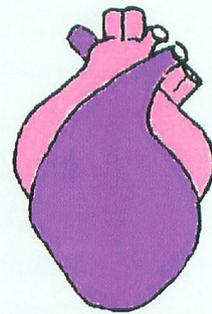
役割を担っております。肝疾患に関するご相談は、個別相談を毎週1回火曜日13時から16時の間に肝臓専門医が窓口で対応致しますので、医事課(相談窓口)に来て頂くか電話で予約(072-366-0221・内線2162)を取って頂く事により個別相談を受ける事が出来ます。この個別相談は当院に通院しておられる患者さまのみならず一般市民の皆さまも対象としておりますので遠慮なくお問い合わせください。また近畿大学医学部附属病院では、従来よりさまざまな分野で、住民の皆様の健康の回復や増進のお手伝いをさせていただいております。

● 救急診療部 (ER部) と救命救急センター

各診療科の協力を得て、救急診療部 (ER部) と救命救急センターを中心とした救急医療体制を整備しています。初期、二次医療に対しては約1年前に「救急診療部」が設立され、専従の医師と各科の医師が救急診療を行っています。重症患者については約30年の歴史を持つ「救命救急センター」が対応し、南河内地域での救急医療の最後の砦となっています。

**● ハートコール**

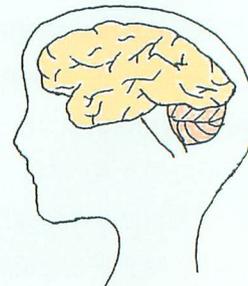
循環器疾患の中でも急性心筋梗塞や致死性不整脈、急性大動脈解離などの緊急を要する患者さまの生死は、いかに迅速かつ高度な医療を受けられるかにより左右されます。ハートコールとは、これらの患者さまを迅速に受け入れ、直ちに高度な医療を提供するためのホットラインのことです。具体的には近隣の病院や医院、消防隊救急車内からの直通電話 (ハートコール) を介して、循環器緊急患者さまを当院救命救急センター内CCU (6床) へ直接受け入れています。当院CCUでは熟練医師が24時間常駐し、緊急時の受け入れから治療の態勢を整えています。



(ハートコール、脳卒中コールに関して直接の電話受付は行っておりません。)

● 脳卒中コール

脳神経外科専門医への直通電話を設け、24時間体制で脳卒中患者さまの受け入れを行っています。日勤帯は脳卒中担当医が、夜勤帯は当直医が担当しています。また夜勤帯においても緊急の手術に対応できる体制をとっています。脳卒中患者さまが搬送された場合は、ER 室または救命救急センターで初期対応を行い、必要に応じて緊急に、CT や MRI を施行します。そして患者さまの病状により、t-PA 静注療法 (血栓を溶かす療法)、血管内治療、脳神経外科手術などを行います。脳卒中診療では、患者さまが地域全体で適切な診療を受けられるよう脳卒中地域連携パスを推進しています。



● 新生児集中治療室 (NICU)

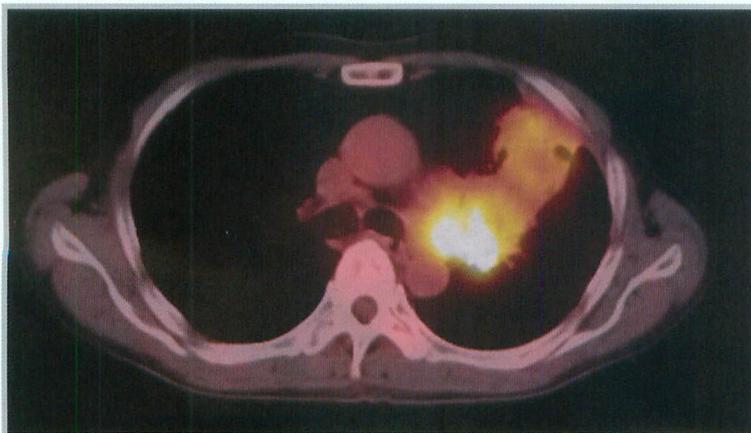
NICUは、平成18年4月に新しくオープンしました。ベッド数は、NICUが9床、GCUが18床の計 27床から構成されています。経験豊富なスタッフを揃え、低出生体重児や心疾患・外科疾患新生児の診療を行います。日本周産期新生児医学会専門医制度研修指定施設、また大阪府の地域周産期母子医療センターの一つとして24時間体制で地域の周産期医療、新生児医療を支えています。2007年は超低出生体重児が16例入院し、人工換気62例、外科手術29例が行われました。これらは新生児医療施設評価基準の最高ランク、すなわち人工換気年間50例以上、超低出生体重児年間入院数20例以上の「総合周産期母子医療センターに匹敵する施設」に迫る数字です。



● 高度先端総合医療センター・PET診断部門

PET (陽電子断層撮影)とは、陽電子を放出する薬剤を用いて生体組織の活動状態を画像化する方法で、痛みや副作用のほとんどない優しい検査です。がんの診断のほか、心臓や脳の疾患の診断にも極めて有用です。私どものPET診断部門は、附属病院に直結し高度の診療に対応した、患者さま中心

の施設です。検診によるがんの早期発見を行い、より良い治療方針の選択に貢献しています。常に診断能力の向上に努め、学会などを通じ国内のPET診断をリードしています。そのほか本部門では放射性同位元素を用いたがんの治療(メタストロンによる骨転移疼痛緩和、ゼヴァリンによるリンパ腫治療)にも取り組んでいます。



PET/CT画像 ● 肺がんにFDG (PET薬剤)が集まっています。

当科は消化管外科、肝胆膵外科、乳腺内分泌外科、呼吸器外科、小児外科、一般外科(末梢血管を含む)の心臓大血管外科を除く全ての外科領域で専門医による外来診療、入院治療を行っています。消化器外科では食道・胃・十二指腸・大腸・肝胆膵の良性ならびに悪性疾患を、乳腺内分泌外科、呼吸器外科、小児外科においては外科的疾患の全てを対象としています。近年は内視鏡外科を積極的に組み入れ、総合的な最新の外科治療を提供しております。



循環器内科

当科は、平成18年4月に宮崎俊一主任教授が国立循環器病センターから着任され現在、総勢24名の常勤医師で頑張っています。

専門分野は、心臓を中心とした全身への血液循環にかかわる病気全てを対象とします。具体的には、虚血性心疾患（心筋梗塞や狭心症）、不整脈や心不全、そして末梢循環不全など幅広い病気の診断と治療を得意とします。

実際の診療内容としては、カテーテル（細い管）を用いた治療を主に行っています。虚血性心疾患に対しては、経皮的冠動脈形成術（冠動脈内ステ

ント留置術を含む）は、平成19年度で年間335例の患者さまに行いました。不整脈に関しては、カテーテルアブレーション術（経皮的な心筋焼灼術）、下肢閉塞動脈硬化症に対する経皮的血管形成術（PTA）なども積極的に行っています。これらの治療は外科的治療に比べて体の負担が少ない治療法です。

また、当科の特徴として、急性心筋梗塞を代表とする緊急を要する患者さまに対応するために、救命救急センター内にCCU（Coronary Care Unit: 重症な循環器救急患者さま専用のベッド）を有していることであり、24時間いつでも迅速な診断～治療が可能な体制が整えられています。



■ 検査部だより

臨床検査の受付手順を説明します

— 血液検査・尿検査・便検査・喀痰検査などを受けられる患者さまへ —

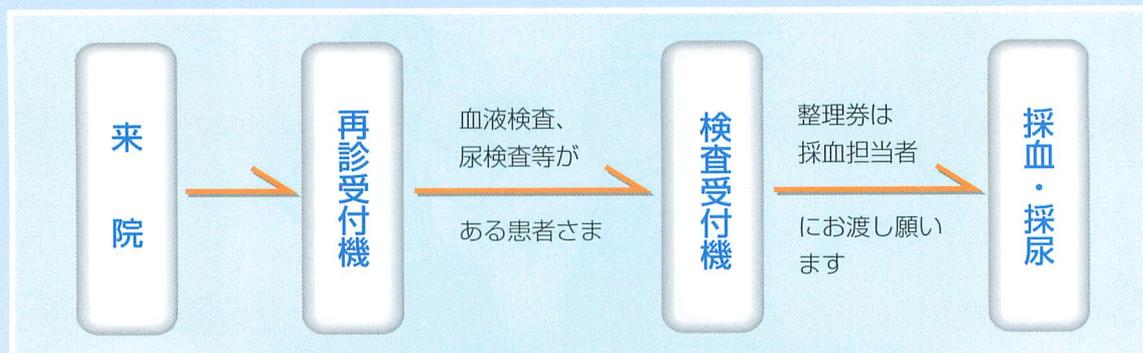
- 検査のある患者さまは先に再診受付を済ませ、2階の「中央臨床検査部 採血受付写真①」にお越し下さい(受付には診察券が必要です。お忘れの場合は担当者に申し出て下さい)。
- 受付開始は午前7時30分からです。
- 採血受付前に設置してある「採血採尿受付機写真②」に診察券を入れますと、順番整理券が発行されます。整理券番号でご案内致しますので、大切に保管して下さい。
- 医師から白色や青色の検査伝票、治験用容器などを渡された方は、受付にご提出下さい。
- 検査の内容によって“採血があります”“採尿があります”“その他の検査があります”“受付窓口にお越しください”“通院治療センター採血室前でお待ち下さい”などのメッセージが整理券に印字されます。
- 整理券は採血時に担当者にお渡し願います(整理券バーコードで患者さまの本人確認をしています)。
- 午前8時から採尿案内、午前8時25分から採血案内を開始します。
- 採血を受けられる際は「採血を受けられる患者さまへ」のパンフレットを受付前に用意しておりますのでお読み下さい。



写真① 2階中央臨床検査部採血受付



写真② 採血採尿受付機とパンフレット



問い合わせ先 内線2180 中央臨床検査部 受付

■ 看護部だより

看護部の理念と方針について

私たちは、病院の理念と基本方針を基盤に優しさのある、心温かい看護の実践を目指しています。常に「より良い看護」と「看護の適切な提供」を実践するため次のことを方針とします。

1. 患者さまの生命の尊厳と人権を守り、社会と医療のニーズに応じた看護を提供する
2. 日々の看護を通して看護の本質を追求し、看護の質を高める
3. 自己啓発に努める

病棟の紹介 10病棟



看護長 杉本幸恵

10病棟は、メンタルヘルス科と神経内科の病棟です。私たち看護スタッフ全員は、「笑顔と優しさ」をモットーに、常に患者さまの安全・安楽を最優先した看護の提供を心がけております。

<看護長から一言>

お体を大切に
健康が一番!!

認定看護師とは?

日本看護協会の認定の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した技術と知識を有することを認められた看護師で、水準の高い看護実践を通し看護師に対する指導・相談活動を行います。

認定看護師の紹介

当院には、現在7名(内訳 救急看護1名、感染管理1名、皮膚・排泄ケア2名、緩和ケア2名、がん化学療法1名)の認定看護師がそれぞれの分野の専門的知識と技術を生かし、各看護単位の要請に応じ看護師教育や患者指導、看護の実践を行なっています。

私は、がん化学療法を受けている患者さまの副作用に対する看護に困難さを感じ、これを機にがん化学療法看護認定看護師教育課程に進み、2004年に資格を取得。現在では、看護師へのコンサルテーションや教育、がん化学療法患者さまへの症状マネジメント・セルフケア支援などの実践を主体に外来・病棟で活動しています。



がん化学療法看護
認定看護師
慎 玉 姫

■ 栄養課だより

入院中の患者さまのお食事について

当院栄養課では、病院直営で入院患者さまのお食事をご用意しています。昨今では、輸入食品等で化学物質の混入など食の安全性が問われる事件が多く起きておりますが、提供している食事は手作りを基本として既製品の冷凍食品および冷凍グリーンピース、コーン（ニュージーランド産）を除く冷凍野菜は使用せず、安全管理も重視し食事を作成しています。餃子、コロッケ、しゅうまい、小児科病棟に

15時に提供しているおやつは全て手作りで、月・水・金には一般食の患者さまには選択食を実施し、化学療法などで食欲が低下された患者さまに、個別対応食や化学療法対応食等もご用意しています。季節の移ろいを感じる事が出来ない患者さまに対し、旬の味を献立に取り入れ四季折々の行事に合わせての行事食を提供し、食事だけでなく、心の栄養を目的に二十四節気に合わせて、食事にメッセージをつけています。



こどもの日 減塩食



元日 一般食

パールB食（化学療法対応食）

献立例



- 卵焼き
- すき焼き煮
- フルーツ盛り合わせ

○米飯100g



- 焼き魚おろし添え
- 茶碗蒸し
- フルーツ

○米飯100g



- しゅうまい
- 茶碗蒸し
- シャーベット

○うどん1/2玉

ハロウィーン小児食おやつ



パールA食（化学療法対応食）

主食:米飯、おにぎり、粥、麺類、パン、主食なしから選択可

副食:果物、ゼリー、プリン、アイス、シャーベットなどのデザート類 においの少なくあっさりとした食べやすいもの少量 2~3品

献立例



- 茶碗蒸し
- フルーツ盛り合わせ
- わらび餅

○全粥100g+梅びしお



- 冷やしとろろ汁
- フルーツ
- 固形ヨーグルト

○全粥100g+のりの佃煮



- フルーツ
- アイスクリーム
- 野菜ジュース

○うどん1/2玉

■ 薬剤部 だより

患者さまにお薬が正確にお渡しできるように お薬渡し口にバーコードを導入しました

「お薬引換券」と処方せんのバーコードのチェックをすることにより正確にお薬をお渡しすることができます。また、お渡しするお薬が残っていないかなどの確認やお薬をお渡した日も同時にチェックすることができ、お薬の渡し忘れが起こらないよう努めております。少し時間がかかりますが正確に患者さまにお薬をお渡しするためのシステムですので、ご協力お願い申し上げます。

患者さまにお薬をお渡しするまでの流れ

- ① 患者さまが診察を終わられた後、会計を済まされると領収書が発行されます。領収書についている「お薬引換券」（バーコードが入っている）をお薬渡し口にお持ちください。（写真）



- ② お薬渡し口で「お薬引換券」を受け取った薬剤師はまず各自が持っているバーコードを読み取らせます。（写真）



- ③ 次に「お薬引換券」と同じ番号の処方せんのバーコードを読み取らせます。（写真）



- ④ 「お薬引換券」とお薬が間違いないことを確認し患者さまにお薬をお渡し致します。

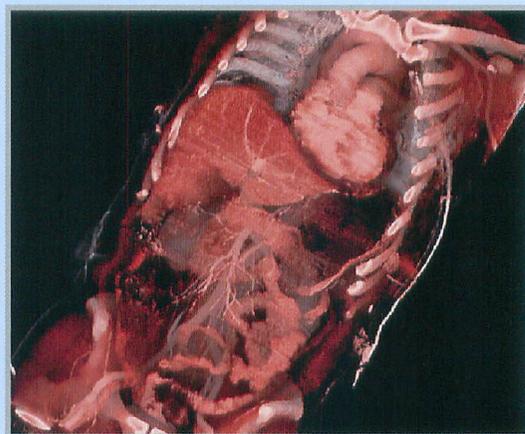
お薬の問い合わせについては薬剤部（内線:2136）までご連絡ください。
（受診科・内容によっては、診療科へおつなぎする場合がございます）

■ 放射線部だより

中央放射線部では、CT、MRI、血管造影、核医学など各種画像診断に於いて最新鋭の装置を整備しており、約20名の放射線診断医(専門医12名)が迅速に正確な読影を行っています。また、カテーテルを用いた動脈塞栓術や冠動脈形成術など、切らずに病変をピンポイントに治療するインターベンショナル・ラジオロジー(IVR)も幅広く行っています。更に、がん治療に非常に有効とされる放射線治療においても、8名の放射線治療医(専門医7名)によって、精度の高い治療が行われています。



64マルチスライスCT



CTによる3D画像

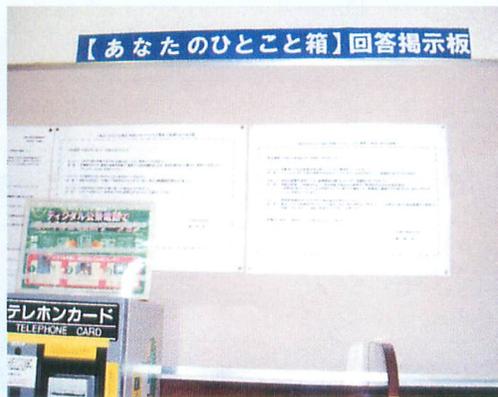
「あなたのひとこと」投書箱について

患者さまのご意見・ご要望がございましたら、ご記入の上投函をお願いいたします。用紙と筆記用具は各科受付にも用意しております。

より良い環境のもと医療を受けていただけるよう整備・改善することを目標としています。回答につきましては、初診受付前の掲示板または病院ホームページ上でご確認ください。

設置場所：1階 入退院受付前

2階 初診受付前



安全管理部

安全管理部からのお知らせ

安全管理部は医療安全対策室・感染対策室・個人情報対策室から構成されており、それぞれの部門が互いに協力し近畿大学医学部附属病院における医療安全の改善を図っております。

また、患者さま・ご家族の皆さまが安心して治療に専念していただけるよう安全の確保と環境作りを目的として‘あなたの一言’という投書箱を設置しています。皆さまが近畿大学医学部附属病院を受診された際に感じられたことをお伝えください。皆さまのご意見が今後の医療の安全と質の向上に繋がってまいります。

さらに入院中の与薬・採血・検査などの際にはバーコードを携帯情報端末(PDA)でチェックさせていただき治療内容の確認を行うシステムを全面的に導入いたしました。これは、全国の大学病院のなかでも、もっとも先進的なシステムとなっております。



写真はバーコードをPDAで確認しているところです。ぜひとも、バーコードの着用にご協力ください。

当院では、医療制度の相談、手続きの説明と患者さまやご家族の医療に対する意見や要望をお受けする患者さま相談窓口を設けております。

また、医療福祉相談室にて、ソーシャルワーカーが治療や療養の妨げとなる生活上の不安、心配事等をお聞きし支援いたしております。

■ 患者さま相談窓口

場 所／2階医療相談・安全管理課

受付時間／平 日 9:00～17:00

土曜日 9:00～11:45

主な相談内容

- 交通事故に関する保険関係の相談
- 高額医療費の相談
- 診療記録等の開示に関する相談
- 公費負担医療制度に関する相談



- 生活保護
- 特定疾患医療制度
- 小児慢性特定疾患医療制度
- 自立支援医療制度（更正医療、育成医療、精神通院治療）
- 労災保険制度
- 公害医療制度

- その他当院に対する意見・要望

■ 医療・福祉相談室

場 所／2階初診・再診受付横

受付時間／平 日 9:00～17:00

土曜日 9:00～11:45

主な相談内容

- 退院に関する相談、経済的問題に対する相談
- 社会保険・福祉制度に関する相談
- 心理的な問題の相談、社会復帰の相談



ノースモーキング
 ホスピタル宣言



健康維持・増進のために、タバコのない病院を目指します。
 皆様のご協力をお願いします。
 病院長

院内および敷地内は**全面禁煙**です。

入院される患者さまには、禁煙に関する同意書を記入して
 いただいております。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

《個人情報保護について》

個人情報保護について近畿大学医学部附属病院では患者さまの情報の取り扱いに万全の体制で取り組んでいます。

1. 個人情報の利用目的について当院では、患者さまの個人情報を診療・教育などの目的で利用させていただくことがございます。これら以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、改めて患者さまからの同意をいただくことしておりますのでご安心ください。
 なお、不安がございましたらお気軽に医学情報管理課におたずねください。
2. 当院では、患者さまの個人情報の開示・訂正・利用停止等につきましても、「個人情報の保護に関する法律」の規定に従って進めております。

各診療科のご案内

循環器内科、高血圧・老年内科、内分泌・代謝・糖尿病内科、消化器内科、血液内科、腎臓・膠原病内科、神経内科、腫瘍内科、呼吸器・アレルギー内科、メンタルヘルス科、小児科、(小児科一般・腎・血液・膠原病・心臓小児)、外科(肝胆膵外科、小児外科)、外科(上部消化管外科、肺・乳腺内分泌外科)、外科(下部消化管外科)、脳神経外科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、放射線腫瘍科、放射線診断科、麻酔科、救命救急センター、歯科口腔外科、高度先端総合医療センター(PET診断部門)、救急診療部(ER部)、救急診療部(ER部)、人工透析部、リハビリテーション部、中央手術部・集中治療部、NICU部(新生児集中治療部)、分産部、内視鏡部、東洋医学・腫瘍免疫研究所附属診療所、東洋医学研究所附属診療所(漢方診療科)腫瘍免疫研究所附属診療所

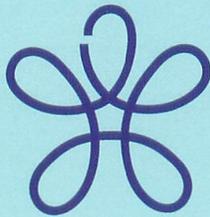
外来受付時間

平日	土曜	休診日
予約外又は紹介状をお持ちでない患者さま 8時30分～11時30分	8時30分～11時00分	日曜日・祝日
紹介状をお持ちの患者さま 8時30分～14時00分		創立記念日(11月5日) 年末年始(12月29日～1月3日)

※患者さまが当院での治療等を必要とされる場合、紹介医からの紹介状が原則となっておりますので、なるべく当院宛の診療情報提供書(紹介状)を持参頂きますようお願いいたします。

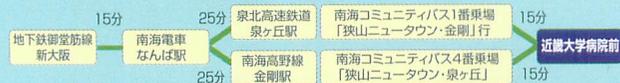
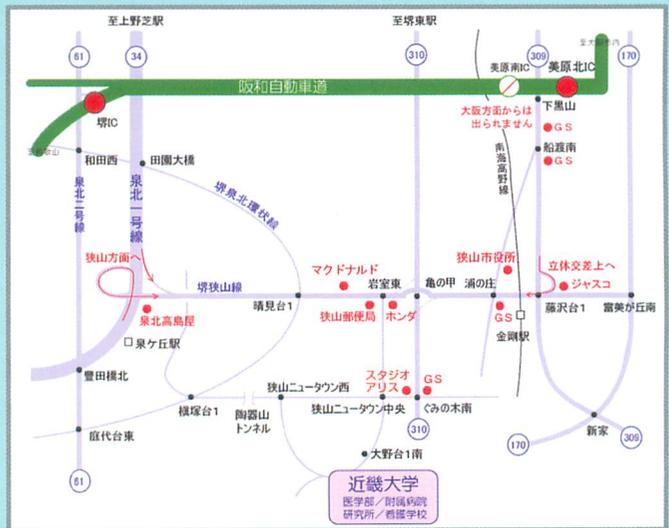
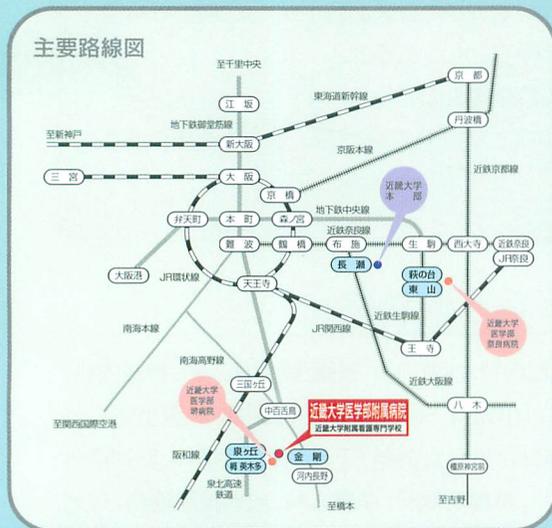
※初診時に紹介状をお持ちでない方には、保険外併用療養費として3,150円(消費税込み)をご負担頂きます。

※診療科によっては、完全予約制や休診日もございますので、詳しくは各診療科にお問い合わせください。



近畿大学医学部附属病院

アクセス



編集後記

皆様に近畿大学医学部附属病院のことをもっと知っていただくために広報誌「きすな」を発刊することとなりました。年2回定期的に発行し、当院のいろいろな情報を発信してまいります。患者さまと近畿大学医学部附属病院との架け橋の一つに役立てば幸いです。今後とも広報誌「きすな」をどうぞよろしくお願いいたします。

発行日/平成21年1月15日 発行場所/近畿大学医学部附属病院
編集/広報委員会 竹村 司

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2

TEL (072) 366-0221 (代表)

FAX (072) 365-0206

ホームページ <http://www.med.kindai.ac.jp/huzoku/>